

「若手研究者の現状と将来ビジョン」 ～男女共同参画社会におけるリーダー像～

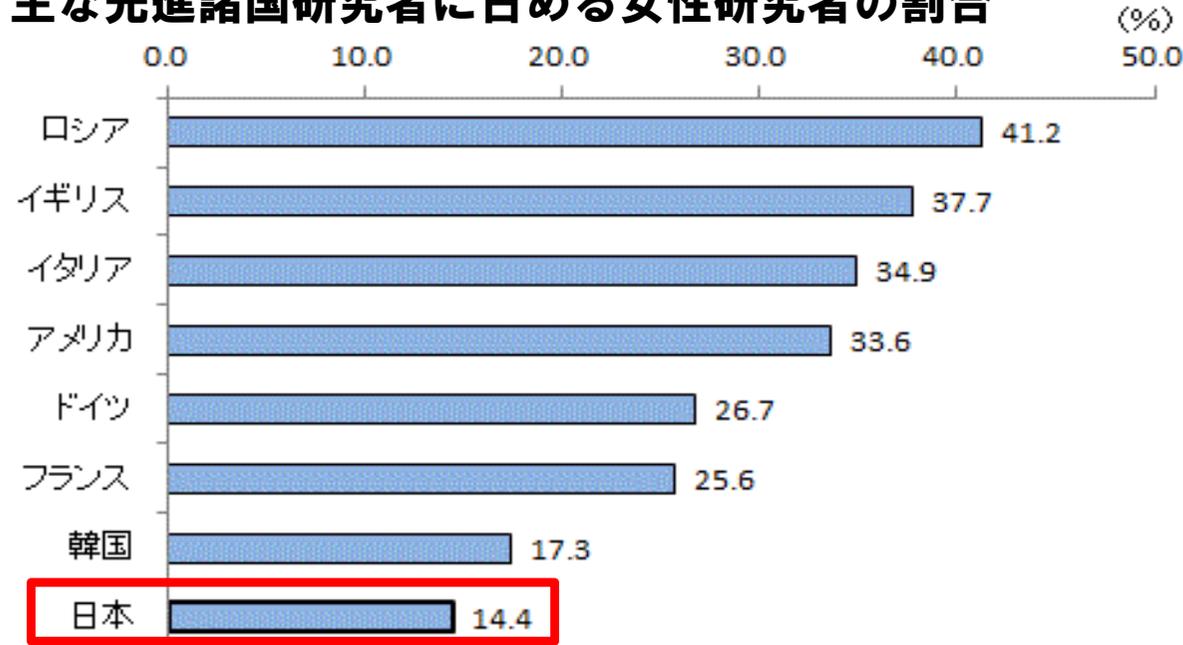


なぜ、このテーマなのか？

木村 直子
山形大学農学部食料生命環境学科・教授

日本の女性研究者人口の動向

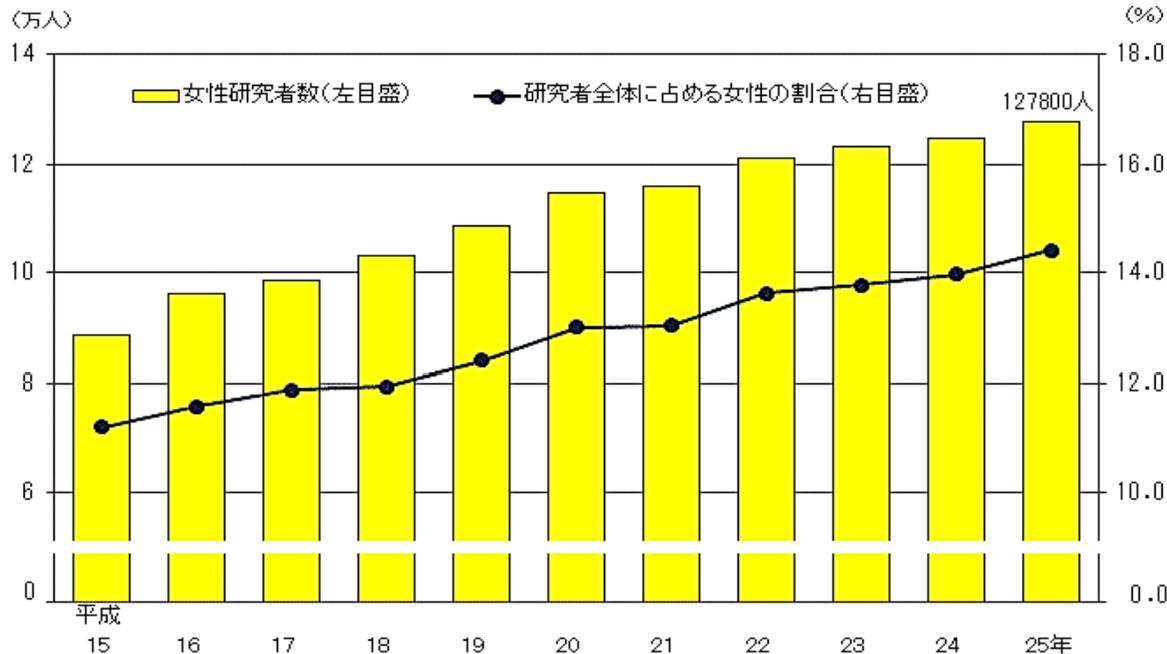
主な先進諸国研究者に占める女性研究者の割合



日本では、研究者に占める女性比率が、極端に低い。

- 主な先進諸国の研究者（研究分野問わず）に占める女性割合は**最下位（14.4%）**。
- EU諸国も含めた34カ国中でも**最下位**。

日本の研究者に占める女性研究者の割合

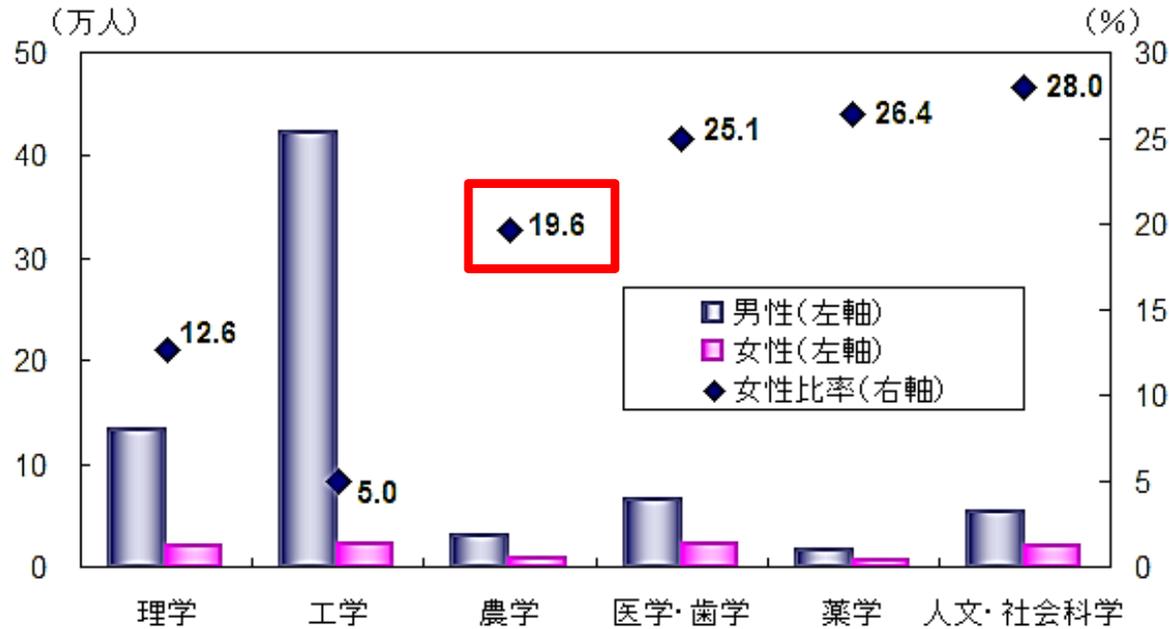


しかし直近10年間では、女性研究者の絶対数と比率は、微増している。

平成25年度約13万人、女性比率は14.4%。

研究分野別に見た女性研究者の動向

研究分野別に見た女性研究者の割合

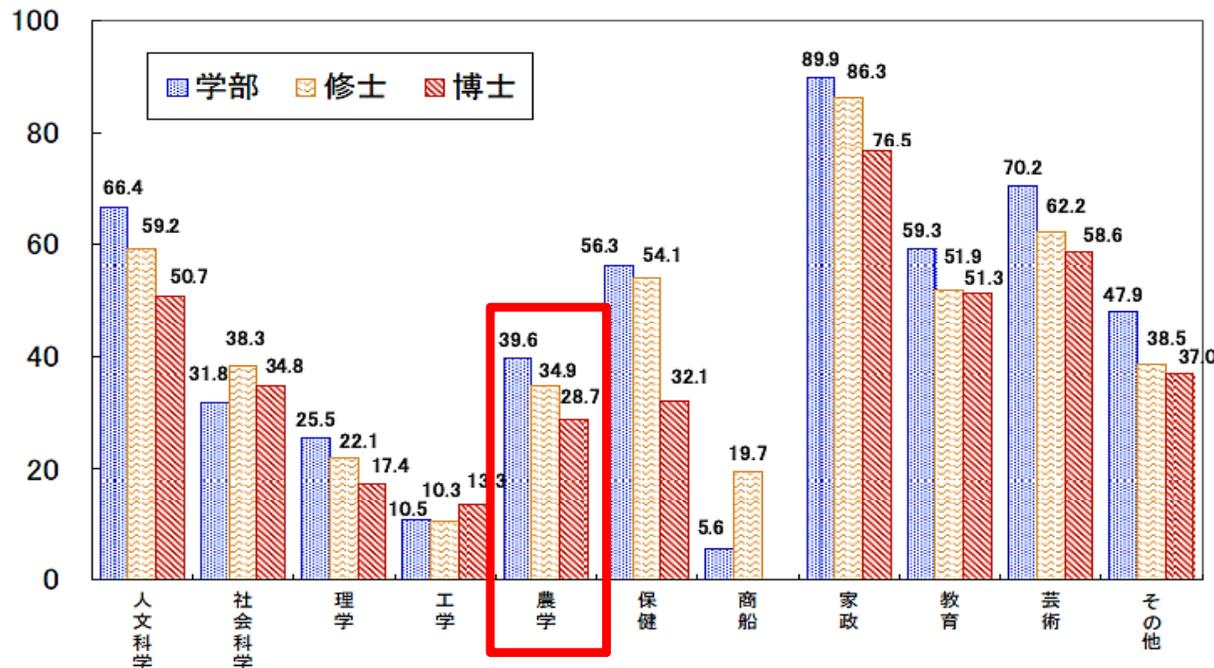


農学系女性研究者の割合は、19.6%。

理系学部では、**医薬学系、農学系、理学系、工学系**の順番で高い。

出典：総務省「平成24年科学技術研究調査」より大和総研作成

研究分野別に見た学部学生・院生に占める女性の割合



農学系博士課程女子学生の割合は、28.7%。

出典：平成20年学校基本法より作成

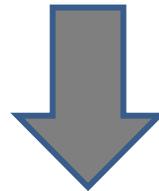
現状

- ・日本の女性研究者比率は、着実に年々増加。
- ・一方、世界的にみると、その比率はまだ最低レベル。



今後のステップ

- ・学位取得者の女性比率を上げる(母集団の拡大)ための施策等、引き続き多方面で工夫は必要。
- ・多様な研究集団全体のアクティビティの維持・向上をどう図るのか？

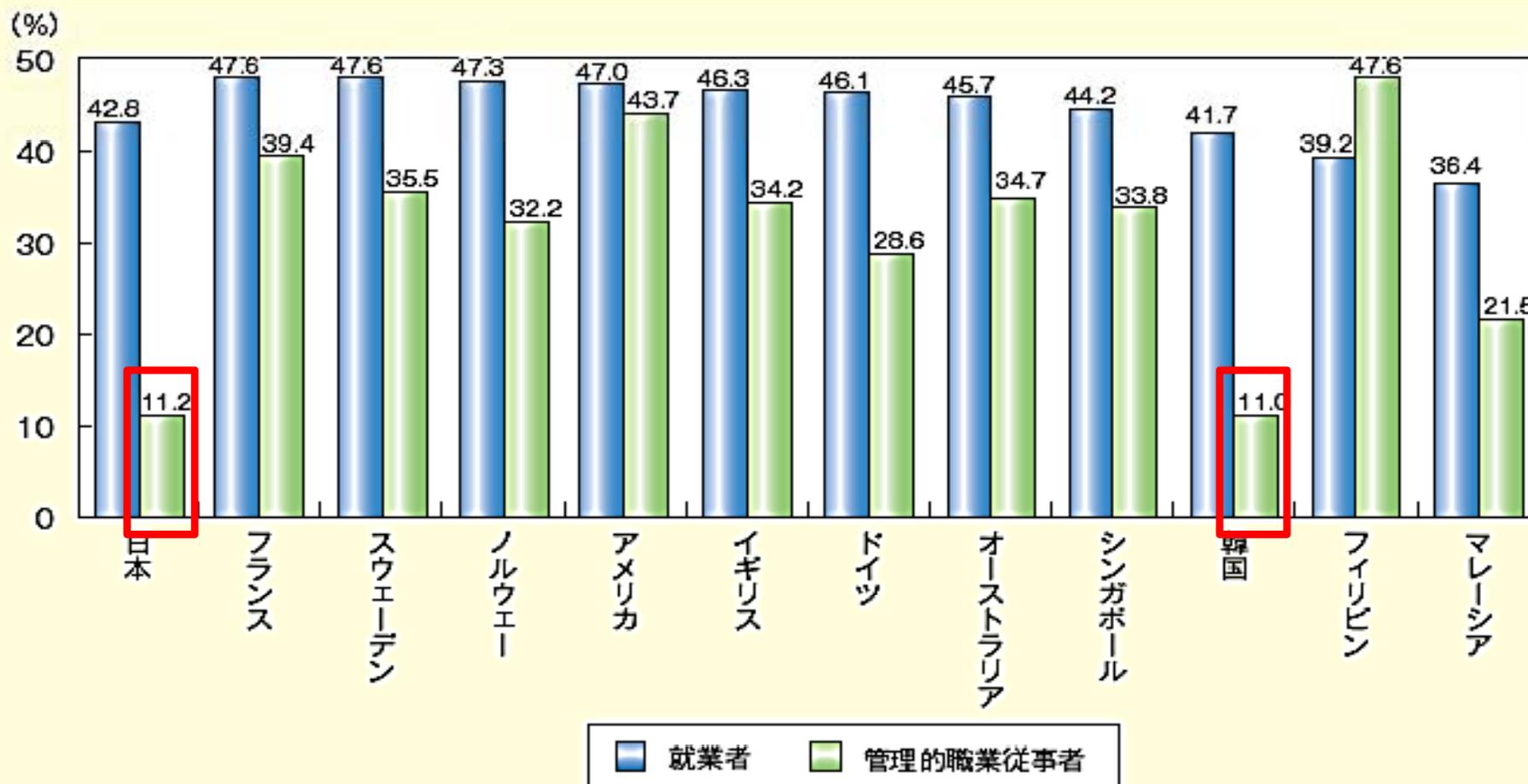


研究者が自身のキャリア形成をどのように考えるか？

男女共同参画社会におけるリーダー像とは？

- ・当事者の視点:自身のリーダー像は？
- ・育てる側の視点:どのようなリーダーを育てるか？

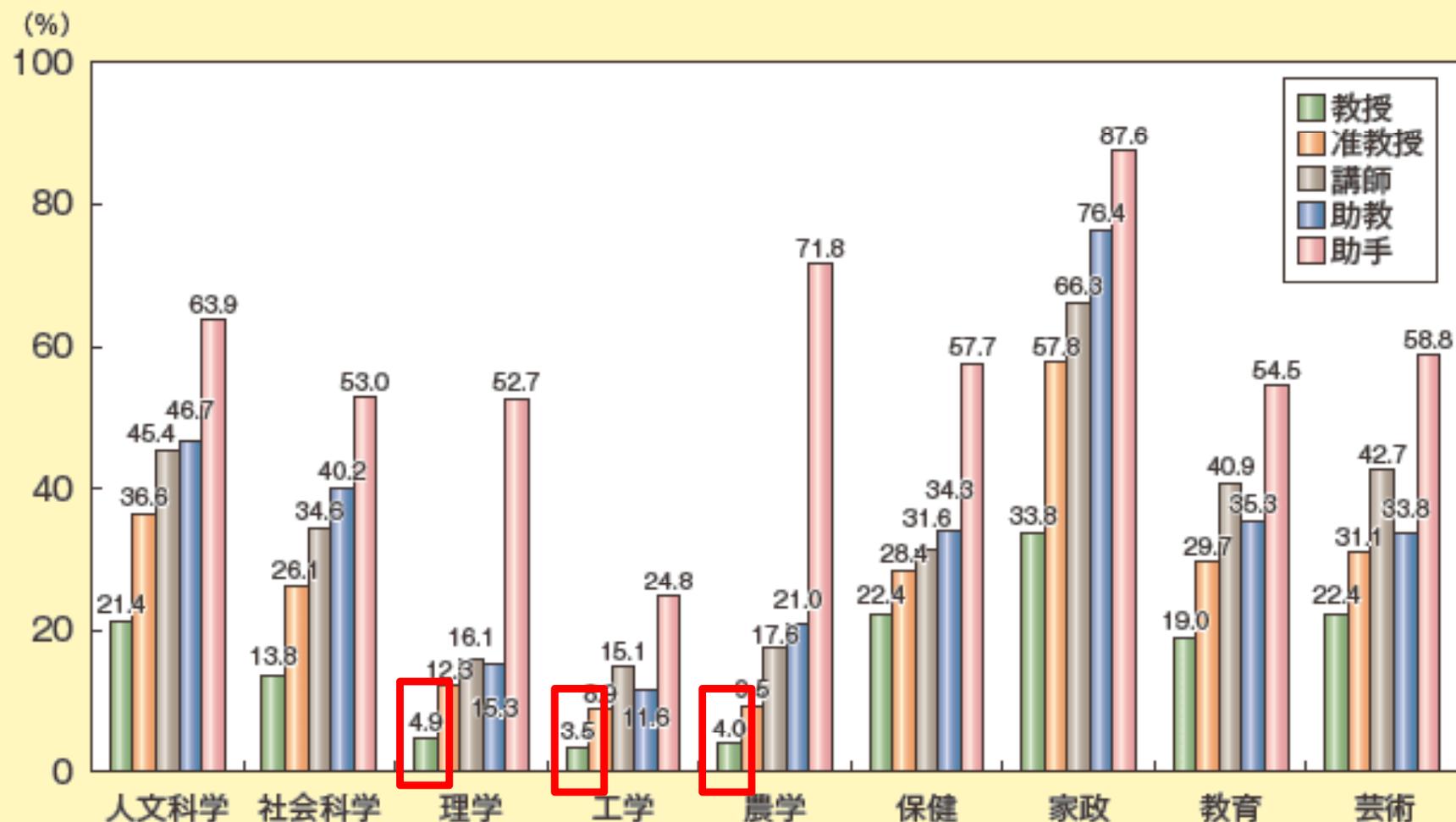
1-2-9 図 就業者及び管理的職業従事者に占める女性割合



- (備考) 1. 総務省「労働力調査（基本集計）」（平成25年）、独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2014」より作成。
 2. 日本は平成25年、その他の国は2012（平成24）年のデータ。
 3. 総務省「労働力調査」では、「管理的職業従事者」とは、就業者のうち、会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等をいう。また、「管理的職業従事者」の定義は国によって異なる。

先進諸国の中で、日本の女性管理職従事者の割合は極端に低い。

1-5-7 図 大学教員における分野別女性割合（平成25年）

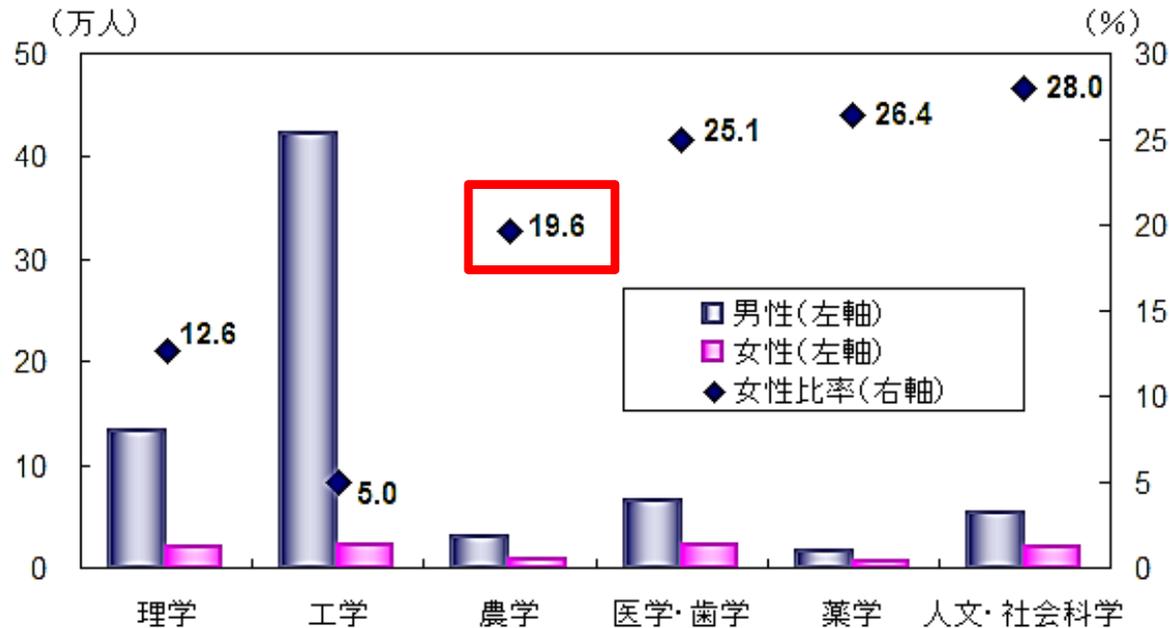


(備考) 文部科学省「学校基本調査」(平成25年度)より作成。

理学系の大学教員のPI（指導的立場の研究室主宰者）の女性割合は、3.6～4.9%。特に農学系は、女性研究者全体比率からみても低い。

研究分野別に見た女性研究者の動向

研究分野別に見た女性研究者の割合

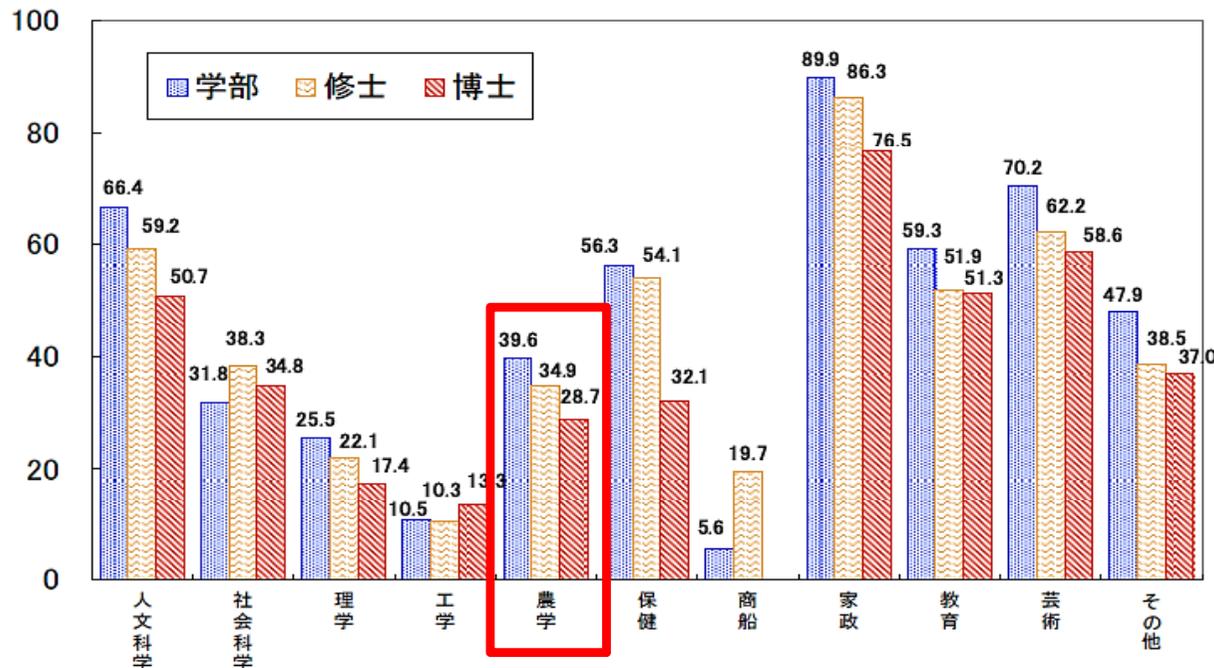


農学系女性研究者の割合は、19.6%。

理系学部では、**医薬学系、農学系、理学系、工学系**の順番で高い。

出典：総務省「平成24年科学技術研究調査」より大和総研作成

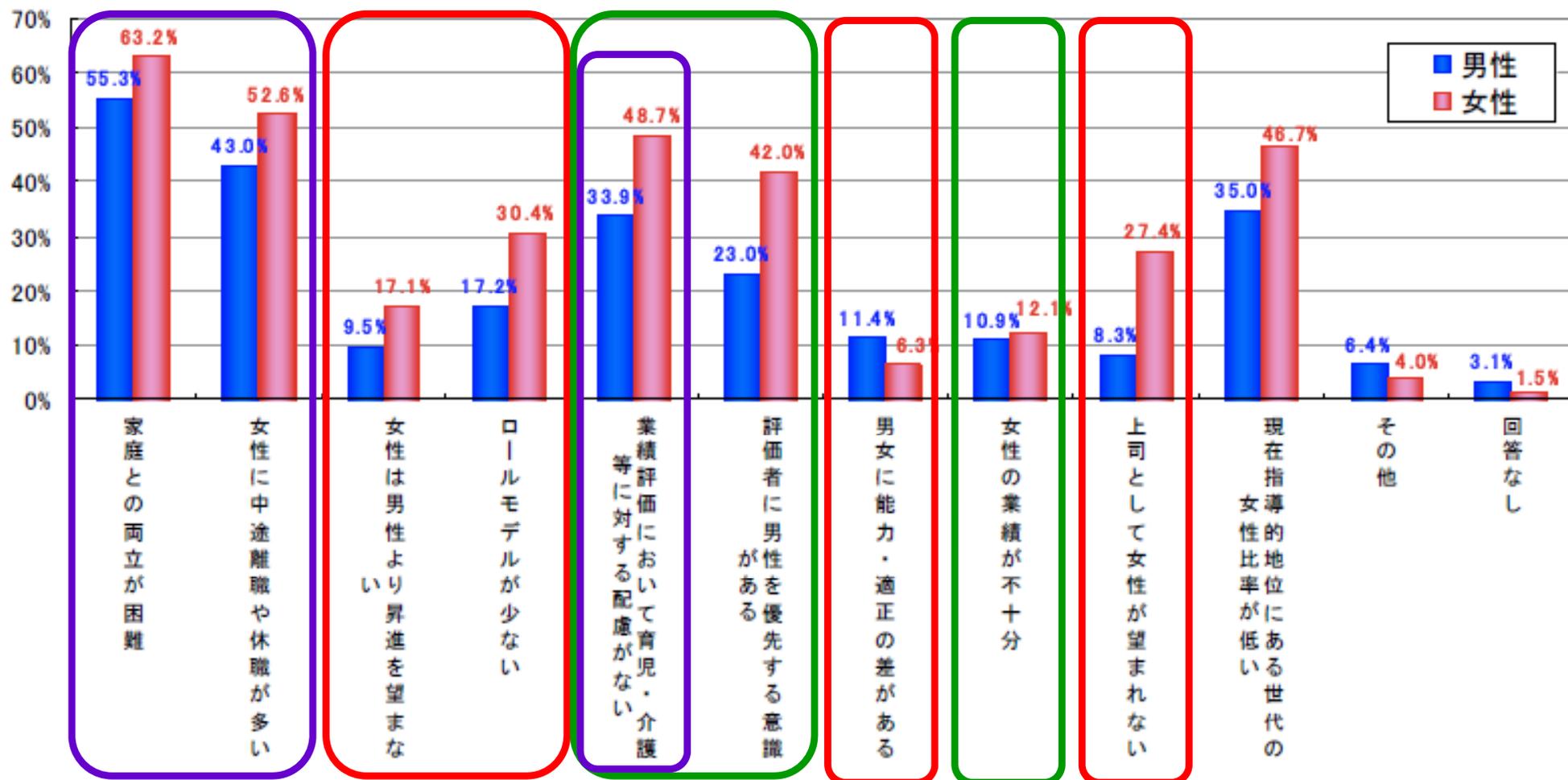
研究分野別に見た学部学生・院生に占める女性の割合



農学系博士課程女子学生の割合は、28.7%。

出典：平成20年学校基本法より作成

指導的立場の女性研究者が少ない理由（複数回答可）



〔出典〕「科学技術系専門職における男女共同参画実態の大規模調査」(平成20年7月 男女共同参画学協会連絡会)
 ※男女共同参画学協会連絡会に加盟する60以上の学協会の会員を主な対象として調査を実施(平成19年8月～11月)回答総数は14,110件(男性10,349名、女性3,761名)

ワークライフバランス

→両立の支援

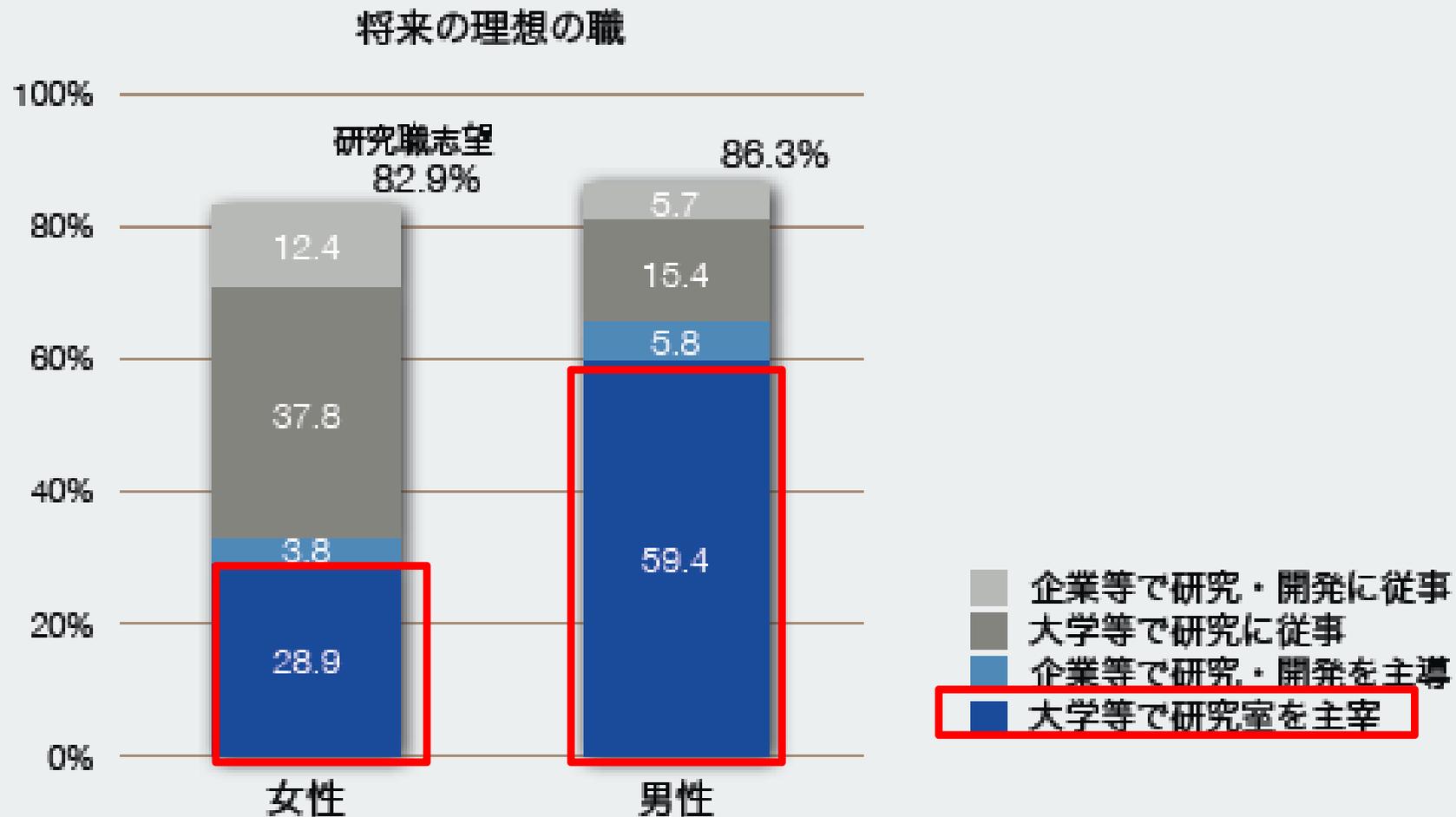
意識

→改革

採用・評価システム

→改善

女性のPI志望率は男性の約半分である



データ出典：第2回バイオ系専門職における男女共同参画実態の大規模調査の分析結果

そもそもPIを目指す女性研究者が少ない。→意識が低い？諦めている？

PIになったら、どのような能力を要求されるのか？

ある地方大学の教員の例（2014年度の場合）・・・

教育(学部・院の講義・実習等):

基礎動物生理学(専任)、動物分子生殖学(専任)、動物発生工学(専任)
その他、一般教養科目の講義(分担)、共通科目の実習・演習の分担など

研究:←自分が思い描く研究と、学生指導ができて、結構楽しいかも！

- ・研究室運営(学部学生・修士学生～10名程度の研究指導、資金繰りが・・・)
- ・連合大学院生への研究指導、連合大運営への協力
- ・共同研究の推進

組織運営:

全学:動物実験委員会(申請書チェック)、男女共同参画推進委員会(企画
・実施2件)

学部:コース主任(定例コース会議の運営他、人事関係)

社会・地域・国際貢献:

- ・スーパーサイエンスハイスクール(3年間)
- ・出前講義(数件)
- ・学会関係の委員・役員など

PIになり、この部分がさらに増えてくる予感?!

以前より、ジェネラリストとしての能力を求められることが多くなった(汗)・・・

若手研究者の皆様、

**ご自身のキャリア形成、目指すリーダー
像は、いかがでしょうか・・・**